



あおぞら

No.26

発行日: 2019. 4. 1.



利用者・保護者・職員みんなで
親睦を深めるBBQ

新しいスタートに

施設長 押田千晴

No.26の「あおぞら」が手元に届く頃には、新しい元号が発表され、新たなスタートに追われている所ではないでしょうか。いすみあかね園においても、平成6年「通いの場」「暮らしの場」として開所し、平成と共に生きてきました。そしてまた、次の時代へのスタートです。これからどんな時代になるのか、楽しみでもあり、不安だらけでもあります。

昨年は、恒例の漢字一文字に「災」という字が選ばれるほど、各地で自然災害・異常気象が発生し、社会的問題となった年でした。幸い、当園では大きな災害などに見舞われる事もなく、利用者共に元気に過ごす事が出来た事は、とても幸せな事だと改めて思います。ただ、開所以来続いていた納涼祭が台風の為に中止になってしまった事、これは25年の歴史の中で初めてで、とても残念な思い出になってしまいました…。

早いもので、私が施設長に就任してから5度目の春を迎えます。「もうだいぶ慣れたでしょ」と言うくださる方もいますが、恥ずかしながら、まだまだ「現状維持する事」、「社会福祉分野の制度・改革・報酬改定等を学ぶ事」が精一杯の日々で、前施設長である三上理事長が築き上げてきたものを守っていくだけの4年間でした。私が右往左往している間にも、福祉をとりまく環境は

どんどん変化し、改革のスピードは止まりません。「地域移行」から「共生社会」への変化もその一つです。「我が事、丸ごと」の地域共生社会への実現、まさに当法人つばさの理念「年齢や障害にとらわれず住み慣れた地域の中で、その人らしく健やかに生活を送れる様に支援する」であり、この理念を基に「共生ホームたけんこ」を今後どのように運営していくか重要な課題でもあり当法人の強みにもなっていくと思います。

又、今一番の社会的問題になっている「人材確保・定着」については、地域性もあり人口減少地域での人材確保はかなり難しい状況にあります。だからこそ、今いる職員で一致団結し、自分達のやるべき事をしっかり行いながら、新しい仲間を待っています。そして、私は人材確保に奔走する日々を送ります。

そして、いすみあかね園でも利用者・保護者の高齢化が現実的な問題となってきました。開所当時から支えてくれた保護者会の活動についても、変化の時かもしれません。活動の目的、意識付け、内容、規模と一つ一つ理解していただき同じ方向を見据え進んで行けたらと思います。「利用者」の為である事は同じです。問題は山積みですが、みなさんに支えていただき一つ一つ解決しながら乗り越えていきたいと思っております。

最後になりますが、日頃より地域の方々、関係各所の方々、後援会、保護者会の方々のご理解とご協力に感謝すると共に、今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

5年を過ぎた僕、私

あかね園に入り、5年が過ぎ6年目を迎えました。この5年の間に自分が支援員としてどれだけ成長できたのだろう、という思いもあります。はたから見たら全く成長が見られないのではないかという不安もあります。支援員という仕事で、毎日あかね園で利用者さん達と関わりを持たせて頂いていますが、最近になってよく思う事が有ります。それは、支援員とっていますが、僕は逆に、利用者さんの何気ない言葉や、笑顔にとっても助けられ、元気を貰い、毎日が過ごせているのではないか、という事です。このような気持ちは、今まで経験した他職種では感じた事の無い気持ちでもあります。今後も利用者さんに助けられ、教えられながら一緒に楽しく過ごせていけるように学び少しずつでも成長していければいいなと思います。

坂爪支援員



玉置支援員

いすみあかね園で皆さんとお仕事させて頂くようになってから、もうすぐ5年が経とうとしています。少しずつ利用者さん一人一人の性格や好みを理解する事が出来るようになり、以前よりも利用者さんとい関係構築してきたかなと思います。今でも支援や関わり方については試行錯誤の毎日で、上手くいかない事もたくさんありますが、利用者さんの笑顔や「ありがとう」「楽しかった」等の言葉一つで、次も頑張ろう！とパワーを貰い、モチベーションに繋がっています。この仕事をしていなかったら出会えなかったような嬉しい出来事がたくさんあり、この仕事に就いて良かったと実感しています。まだまだ私は支援員として未熟な為、先輩方からの助言や支援方法を見習いつつ、技術の向上に努めていきたいと思っています。

利用者M・Wさん

よか活動でマザー牧場に行きました。一番楽しかったのはヒツジのショーを見たことです。ヒツジにはいろいろなしゅるいがあるのには知りませんでしたが、どの国のヒツジもかわいかったです。お昼はジンギスカンとデザートにソフトクリームを食べました。とってもおいしかったです。次のよか活動はどこに行けるのかとても楽しみです。



いすみあかね園のイベント

利用者K・Tさん

1月12日にあかね園で成人式がおこなわれました。M・Yさん、A・Mさん、M・Sさんの3人の成人式がはいさいされました。3人ともりっぱな大人になりました。

料理もたくさんあって、とてもおいしかったです。それから皆さんで成人の人に世界に一つだけの花の歌を皆さんでうたいました。これからもいっしょにがんばっていきましょう。私は3人の成人式がとてもよかったです。



成人式のお祝い

保護者Yさん

1月12日、あかね園では成人式が行われました。今年二十歳になった利用者は、私の娘を含め3名でした。式が始まる前、国吉神社に連れて行った下さり、3人のこれからの人生が豊かなものとなるようにご祈祷頂きました。とっても嬉しかったです。また園に戻ると沢山の笑顔と、先生方が手作りで用意して下さいったという御馳走の数々に感激、胸がジーンと熱くなりました。

我が家では、家庭の都合により娘が学校に入学した年から夏休みごとに日中一時支援を利用させて頂き、長きに渡りお世話になってきたのですが、娘を良く知る先生方が私と同じ思いで成人を祝って下さっている姿に触れて、思わず涙腺が緩んでしまいました。無事にこの日を迎える事が出来た喜びと心温まる感動の成人式に感謝する1日となりました。



国吉神社にて

南部林業組合さんから 原木100本頂きました

元吉支援員

今年も南部林業組合の方々との椎茸菌打ちの季節がやってきました。あかね園の利用者もみなさんとも楽しみにしていました。

椎茸菌打ちについては、南部林業組合の方々があけを中心に行い、利用者は原木に椎茸の菌を一つ一つ確認しながら入れる人・原木を運ぶ人に分かれて行いました。南部林業組合の方々の丁寧な説明もあり、100本あった菌打ちもあっという間に終了、最後の挨拶をして作業が終わりました。これからも利用者と共に作業を頑張っていきたいと思えます。



2018年度 施設整備助成事業

赤い羽根共同募金様より、助成金の交付を受け、いすみあかね園にリフト車を新たに整備することが出来ました。車イスでの移動も多くなり送迎や行事に大いに活躍しています。最後になりますが、この度は当施設に助成していただきまして、本当にありがとうございました。



バザーのお礼

2018年10月21日(日)バザーが行われました。晴天に恵まれ多くの方々において頂き盛大に行う事が出来ました。549,310円の収益がありました。利用者のために使わせて頂きます。ありがとうございました。

2019年度 園行事

- 7月 納涼夏祭り
- 9月 チャリティー歌謡ショー
- 10月 バザー
- 12月 クリスマス会

決算報告

2018年度チャリティー歌謡ショーの会計を下記のとおり報告させていただきます。会員数の減少も目立ってきており、会の運営も厳しさを増してきております。本年度も変わらぬ皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

収入の部		支出の部	
チケット売上代	3,267,500	歌謡ショー運営費用	2,197,451
募金	14,345	つばさ後援会へ	1,084,394
合計	3,281,845	合計	3,281,845

2019年度 つばさ後援会事業計画

4月 「あおぞら」発行
4月～9月 チャリティショー準備
4月～12月 会員継続及び増強
9月29日 チャリティ歌謡ショー

社会福祉法人つばさ「つばさ後援会」
いすみあかね園

チャリティ歌謡ショー

椎名 佐千子

すずき 円香

2019. 9. 29(日)

岬ふれあい会館にて

開演 PM 1:00



A指定席 5,000円
B指定席 4,000円
C自由席 3,500円

6月17日(月)からチケット販売開始(月～金9:00～16:00)

※指定席ご購入の場合は「いすみあかね園」(0470-66-0600)までご連絡下さい。

「つばさ後援会」へのご入会をお願いします

個人会員 (年間一口3千円)

法人会員 (年間一口1万円)

入会申し込み、お問い合わせは事務局まで

TEL. 0470-66-0600

FAX. 0470-66-1878



編集後記

寒暖差の大きな冬でしたが、利用者も大きく体調を崩すこともなく落ち着いた生活を送る事が出来ました。

今年度は新たな元号になり、つばさ後援会としても良いスタートの年にしていきたいと思います。地域の方々とのふれあい、お力添え、よろしくお願い致します。

発行所：いすみあかね園 つばさ後援会

住所 いすみ市山田5901

TEL. 0470-66-0600

FAX. 0470-66-1878